

- 平成23年度 こうべまちづくり学校 基礎講座募集 (P.1)
- 小学生にまちの魅力を知ってもらうために (P.2)
- 連載② こうべまちづくり学校を振り返って「参加の輪を広げる」(P.3)
- 築いて！ひよっこてんー兵庫建築卒業制作展ー ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

平成23年度 こうべまちづくり学校基礎講座募集！

申込締切：平成23年3月18日(金)

協働と参画のまちづくりを目指してまちづくりの基礎を学ぶ講座です。

	日程	テーマ	内容	講師
1	5月16日 (月)	神戸のまちの 歴史	神戸の歴史を通して、神戸のまちの成り立ちを学びます。	田辺 真人 氏 園田学園女子大学名誉教授
2	5月23日 (月)	地域で取り組む 減災まちづくり	自然災害などによる被害を軽減するためのまちづくりについて学びます。	林 春男 氏 京都大学防災研究所巨大 災害研究センター長・教授
3	5月30日 (月)	これからの 神戸の地域活動	地域の中の人とのつながりを豊かにするためには？地域の力をいかにして高めるか？豊富なデータを基に学びます。	立木 茂雄 氏 同志社大学社会学部教授
4	6月6日 (月)	安全で魅力的な 市街地をつくる	自分たちのまちの魅力や安全性を高めるための活動事例やそれを支援する行政の取り組みを通してこれからのまちづくりを考えてみませんか。	まちづくりに携わる 地域住民・専門 家・行政職員など
5	6月13日 (月)	ワークショップ 入門	まちづくりの話し合いの際に、活発に意見交換するために使われるのがワークショップです。初めての方、苦手意識のある方も、ワークショップのさまざまな手法を学んでみませんか。	神戸まちづくり ワークショップ 研究会

※内容・講師等は変更することがあります。

- ◆会場・時間：こうべまちづくり会館 午後6時30分～8時30分
- ◆定員：80名（応募者多数の時は抽選となります。）
- ◆受講料：¥1,000 （4月上旬に案内と納付書をお送りします。）
- ◆申込方法

受講希望の方は、①講座名「こうべまちづくり学校基礎講座」、②氏名(フリガナ)、③住所(郵便番号) ④年齢、⑤性別、⑥電話番号、⑦職業、⑧これまでの受講の有無、⑨まちづくり協議会・自治会などの地域団体の役職(該当の方)をご記入の上、FAX、はがき、E-mailで下記まで送付ください。

こうべまちづくり会館 〒650-0022 神戸市中央区元町通4-2-14

FAX: 078-361-4546 E-mail: mati2@kobe-toshi-seibi.or.jp申込用紙はHPからダウンロードできます。 <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/3jinzai/gakkou/gakkou.htm>

◆申込締切日 平成23年3月18日(金)必着

※ご記入いただいた個人情報は、こうべまちづくり学校に関する事務、まちづくりに関する情報の案内(希望者のみ)以外に利用いたしません

- 秋からは、各分野（コミュニケーション・防災・防犯・景観・まちづくり・まち歩き・土木施設探訪）に分かれてまちづくりについてより深く学ぶ「専修講座」を開催予定です。

平成22年度の専修講座は、平成22年9月2日から12月21日まで全7コースに延べ、246人のご参加をいただき、138人の方が修了されました。まちづくり・まち歩きコースについては、3面に連載記事がありますので、ぜひご覧下さい。平成23年度の募集は7月、講義は9月開始の予定です。詳しくは、あーばんとーく別刷(夏頃)、あじさい市民大学夏号等でお知らせします。

小学生にまちの魅力を知ってもらうために

こうべまちづくりセンターでは、自分たちのまちに関心を持ち、まちにある施設の役割について考えるきっかけになるよう、小学校3年生～4年生の皆さんに、まちの魅力をわかりやすく紹介する取り組みを進めています。

現在は、神戸市建設局主催の「みち・みず・みどりの学校（旧 みちの学校）」のプログラムの一つとして、“総合的な学習の時間”を利用して、校区の特色に応じたテーマで「スライド授業」と「まち歩き」を行い、自分たちが住むまちの歴史や成り立ち・特色、まちに点在する安全なもの・不思議なものなどを学んでもらっています。

本年4月に始まる新学習指導要領の本格実施も踏まえ、より有意義な取り組みになるよう、小学校の先生方のご意見も伺いながら新たな試みも検討しており、小冊子「(仮称)まちの歩き方」の作成などを予定しています。

H22「みち・みず・みどりの学校」より

■5/27 鈴蘭台小学校（北区） 3年生



斜面地に広がる古くからの市街地と区画の整備された新しい住宅地を歩き、鈴蘭台のまちの成り立ちや、まちをつくる過程でまちの安全のために設けられた洪水調整池などについて学びました。

■6/8 長田南小学校（長田区） 3年生

古くから交通の要衝であるとともに、震災・震災の2度の大火から区画整理により復興を遂げた長田のまちを、くつのまちのシンボル施設や区画整理のなかで整備された防災機能を備えた公園などを巡りながら学びました。



■11/26 多聞南小学校（垂水区） 3年生



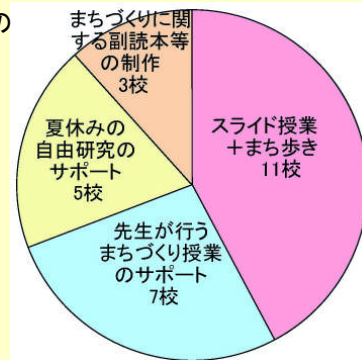
多聞寺を中心に形成されてきた門前町と、そこに隣接する校区内の開発団地の違いを学んだ後、垂水区観光ボランティアの皆さんの協力を得て、多聞寺やその往時の姿を今に伝える石碑や公園などを巡りました。

先生方に聞いてみました！

これまでに、みち・みず・みどりの学校（みちの学校）で、まちの勉強を行ったことがある小学校の先生方に、今後まちづくりセンターに望む役割などについて、アンケートでお尋ねしました。

これまでどおりの「スライド授業とまち歩き」に加えて、「先生方がまちづくりの授業を行う際のサポート」や、「夏休みの自由研究のお手伝い」などを挙げる声が多く見られました。

まちづくりセンターに望むもの
(複数回答有り)



まち歩きのハウツー本を作成します

先生方からいただいた声のなかに、夏休みの自由研究に先立ち、児童に「どのような視点でまちを歩けば、どのようなものが見えてくるか」などの事例を紹介してほしいというご意見がありました。

今後、まちづくりセンターでは、これまでまち歩きの授業のなかで、私たちが児童に伝えようとしてきた視点を事例形式で、小冊子「(仮称)まちの歩き方」としてまとめる予定です。作成にあたっては、先生方のご意見も伺い、先生方が校区探検や自由研究などを計画される際にお使いいただきやすいものにしたいと考えています。

こうべまちづくり学校を振り返って

「参加の輪を広げる」 連載 まちづくりのリーダーの言葉から②

神戸市都市計画総局地域支援室 高木 雅章

前回の言葉、いかがでしたか？「え？」と思われた方もあったのではないのでしょうか？

講師の皆さんはもちろんまちづくりはみんなのためだと思って取り組んでおられます。少しでも皆さんの役に立てばという気持ちも人一倍強く持っておられます。それだけに広い視野をもって、少し違う観点からまちづくりを見ることも大切だということをお話していただいたように思います。

さて、第2回のテーマは「参加の輪を広げる」です。よろしくお祈りします。

◆ イベントに参加する人が増えるだけでは人の輪は広がらない

イベントをしても、参加した人は楽しんで帰っていくだけで、手伝ってくれる人はいつも決まっている、そんなこと多いですね。みんなが楽しめればそれでいい、というならそれでもいいのですが、目的を持ってまちづくりに取り組んでいくには、やはり一緒に頑張ってくれる仲間が必要です。簡単な作業でもいいからスタッフとして参加してもらってきっかけをつくり、手伝ってもらって初めて顔見知りの関係が広がっていきます。子育てサークルでも後片付けこそ、参加者と話をする大切な時間。さりげなく役割を担ってもらう声のかけ方を工夫する必要がありますね。

◆ 簡単だとわかると手伝ってくれる人が出てくる

義務感で肩に力が入っている人はついてきてくれません。さりげなく、やっていたら防災の取り組みになっていた、子育てしている人がほっとできる場ができた、というようにあえて「防災のため」「子育てのため」と言わないことも工夫のひとつです。

ある日、役員の方が協議会で設置したプランターの花に水遣りをしていたら、



▲ まちづくり学校 有馬まち歩き

「そんなことまでやってるの。それくらいなら、毎日の散歩のついでに、私にやらせてもらえない？」と声をかけてくれた人があるそうです。「できる人

が、できることを、できるようにやればいい。」門灯を点灯することも「指一本からできるボランティア」です。何かのついでにできることがあるとわかると、それくらいなら自分にやらせてほしいという人が出てくるかもしれません。そう言ってもらえる雰囲気をつくり、簡単なことから少しずつ関係づくりを進めることがコツのようです。

◆ スタッフとして参加してくれた人に嫌な思いをさせない

真正面から手伝ってほしいと頼むと、なんだかんだと理由をつけて断られてしまう、そんな経験はありませんか。最近の若い人は「危機察知能力」が働いて、何かさせられそうだと感じると近寄らないそうです。そんな中でも「それくらいなら」と手伝ってくれる人は貴重な存在。「恐る恐る、ドキドキしながら」参加しているのかもしれませんが、そんな時、やり方について頭ごなしに言うようなことがあれば、その人は二度と手伝ってくれません。「年配の方には、気に入らないことがあっても若い人に直接言わず、自分に言ってもらうようお願いして、自分が世代間の緩衝材になるようにしている。」「不安はあっても学生ボランティアにまかせてみると、とてもよろこばれた。」というように、手伝ってくれた人に「やってよかった」と思ってもらえるような気配りが大切ですね。

◆ まちづくりはあいさつから

まちづくりの秘訣は、「あいさつ、隣近所が仲良く、まちをきれいに」の3つだそうです。あいさつの「あ」は明るく元気に、「い」はいつも、「さ」は先に、「つ」は続ける。自分から先にあいさつする、こう言っておくと、子どもたちは競い合って先にあいさつしてくれるそうです。大人同士なら会釈するだけでもいいかもしれません。

「特別なことでなく、できることをする。」あのまちは特別で、とてもまねできない、そう考えるのではなく、きっとどのまちでもできることはあります。あいさつからはじめてみるのも、とても大切なことですね。

いかがでしたか。次回は連載最終回、自立した活動のためのヒントを探してみたいと思います。

築いて!ひよっこてん -兵庫建築卒業制作展-



詳しくは公式 HP をご覧ください
<http://hiyocco.jimdo.com/>

2011/3/12(土)~3/13(日) 12:00-18:00 (13日は-17:00)

場所: 神戸元町商店街3~5丁目, こうべまちづくり会館

3/12(土) 16:00-18:00 こうべまちづくり会館2階ホール

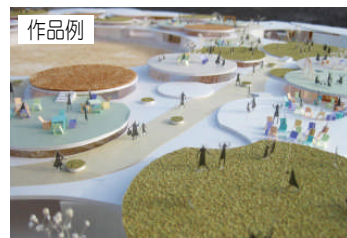
シンポジウム「モノのチカラがヒトのココロを動かせる」

兵庫県内の建築系の大学の学生有志が集まり、神戸元町商店街の協賛を得て、今年初めて兵庫県内で合同卒業制作展を行います。

当日は、商店街の道の真ん中に、300mにわたり、学生の新しいコンセプトで制作した住宅・学校・文化施設・駅舎などの図面や模型、約40作品を展示します。作品に対する投票や学生と一緒にまちづくり模型を作る子供向けワークショップなども予定しておりますので、是非ご参加ください。

主催:兵庫卒展ひよっこてん

明石高等専門学校, 神戸大学, 宝塚大学
 兵庫県立大学, 武庫川女子大学



模型:こどもたちが主役の小学校とこども園

まちづくり会館 展示のお知らせ

1 階オープンギャラリーの予定

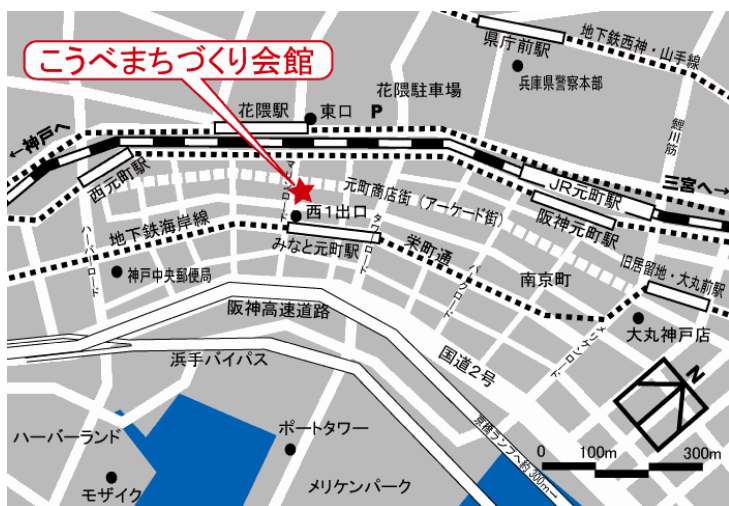
※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
1/6(木) ~ 2/1(火)	空から見た震災復興写真展	神戸市都市計画総局
2/3(木) ~ 2/15(火)	橋梁模型コンテスト/北区フォトコンテスト入賞作品展	神戸市建設局/北区役所
2/17(木) ~ 3/1(火)	ユニバーサルデザイン/容器包装プラスチック分別収集	神戸市保健福祉局/環境局
3/3(木) ~ 3/15(火)	まちづくり学校展	神戸市都市計画総局

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
2/3(木) ~ 2/8(火)	KSC 11・12期絵画同好会 合同作品展 <油彩・水彩等>	K S C 11・12期絵画同好会
2/10(木) ~ 2/15(火)	もとまちハートミュージアム2011 <油彩・水彩等>	もとまちハートミュージアム実行委員会
2/17(木) ~ 2/22(火)	第8回 須磨火曜スケッチの会 作品展 <油彩・水彩>	須磨火曜スケッチの会
2/24(木) ~ 3/1(火)	第13回 遊遊会 水彩画展	遊遊会
3/4(金) ~ 3/8(火)	45th ぐるーぷ ひらの展 <油彩>	ぐるーぷひらの
3/10(木) ~ 3/15(火)	第23回 遥洋会 油絵展	遥洋会



こうべまちづくり会館

開館時間: 午前9時30分~午後6時(水曜日休館)

場 所: 元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話: 078-361-4523 FAX: 078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付: 午前9時30分~午後5時30分(水曜日休館)

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX: 078-361-4565